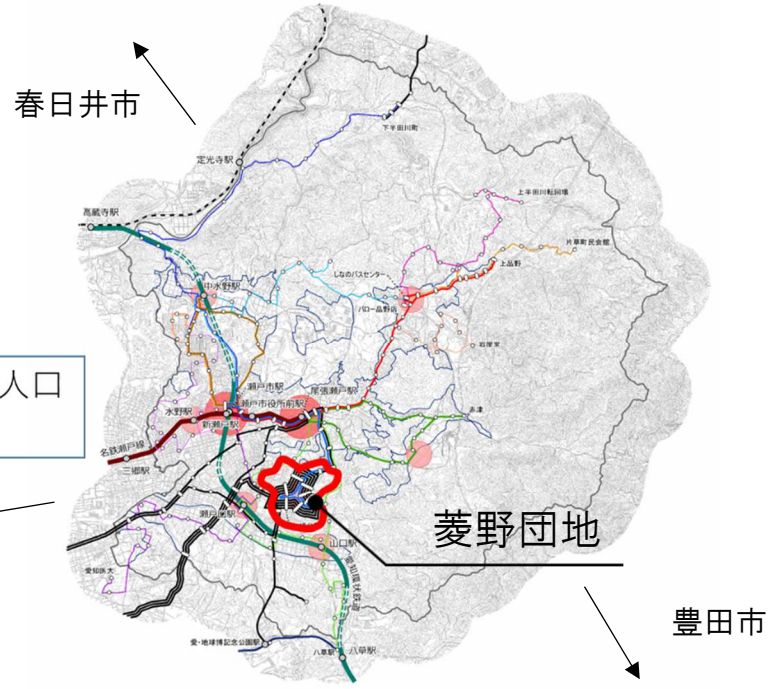


瀬戸市菱野団地

- ・黒川紀章氏設計
- ・愛知県住宅供給公社整備
- ・昭和42年～造成開始
- ・昭和45年～入居開始

開発当時の計画規模

計画面積	173.5ha
住宅建設戸数	7,032戸
計画人口	30,000人



昭和50年の市の総人口
112,569人

住民バス導入のきっかけ

●菱野団地の現状(平成29年当時)

- ・人口減少と高齢化の急速な進行 → バスの運行本数減少
- ・起伏が多い地形 → 坂道を歩いてバス停まで行くことが困難
- ・団地内に公共交通空白地域(鉄道駅から半径800m、バス停から半径300mの範囲外の地域)の存在

十分な輸送サービスが確保されない地域



新たなコミュニティ交通として
地域主導型の「菱野団地住民バス」
社会実験の実施
(平成29年7月～12月)
早稲田大学スマート社会科学融合研究機構
株式会社早稲田大学アカデミックソリューション

住民バスの運行再開(平成30年～)

住民バス		運行経費の費用 (R4は約380万円)
運行日	月～金曜日 ※土・日曜・祝日運休	原山台 コミバス収支率分を負担 (R4は10.6%、約40万円)
便数	1日当たり10便 (つながり号とおおぞら号の2台で運行)	
利用料金	無料 (どなたでもご利用できます)	八幡台 萩山台
乗降者数	R4は19,723人 (1便当たり8.2人、R3は8.6人)	+ 市(R4は約340万円)
運行主体	菱野団地コミュニティ交通運行協議会 (自治会、地域力向上協議会、交通事業者、瀬戸市で構成)	利用者は無料
車両	普通乗用車 (乗車定員10人)2台 ※市所有車両を貸与	
運転手事務員	現在は5名でシフト制で運転 2名の事務員	

子どもを守ることを十分に考慮した明るく楽しい総合的なニュータウンとして計画



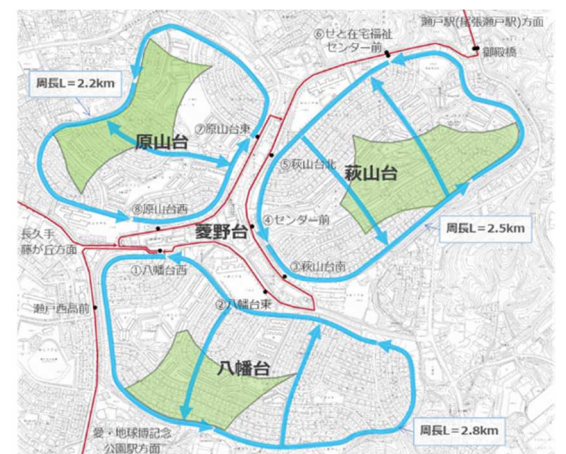
- 3つのブロックで形成
(原山台、萩山台、八幡台)
- ブロックで囲まれたエリアをセンター地区とし、商業施設や診療所等を集積
- 道路の交差は全てT差路(信号がない)
- 主幹線と住区内幹線の間には修景緑地
- 3小学校と1中学校を主幹線を超えない住区周辺の緑地ゾーンに配置
- 各住区とセンター地区は歩道橋で結節

みんなでつくる 住みよいまち 菱野団地① 菱野団地コミュニティ交通運行協議会

住民バス(社会実験)の概要

●運行内容

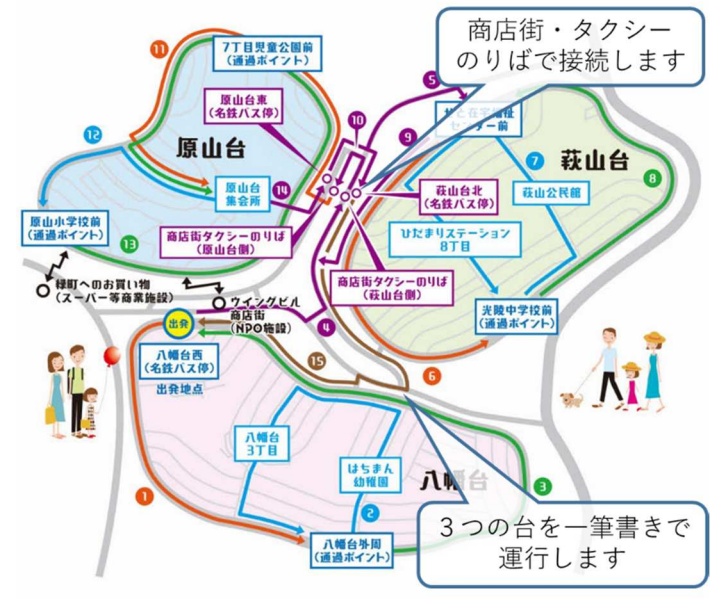
運行範囲は菱野団地内とし、定時定路線にて運行
外周道路は、手を挙げて知らせる自由乗降が可能
名鉄バスの停留所やセンター地区への行き来を想定



ブロック単位ではなく、
団地全体で課題解決に挑む!

- 菱野団地 住民バスルート
- 名鉄バスルート
- 名鉄バス バス停留所
- 交通空白地域 ※

住民バスの運行ルート



ラッピングバスのデザインは
団地の子どもたちの絵を採用
つながり号(上)とおおぞら号(下)



開発から50年近く経過して進む高齢化



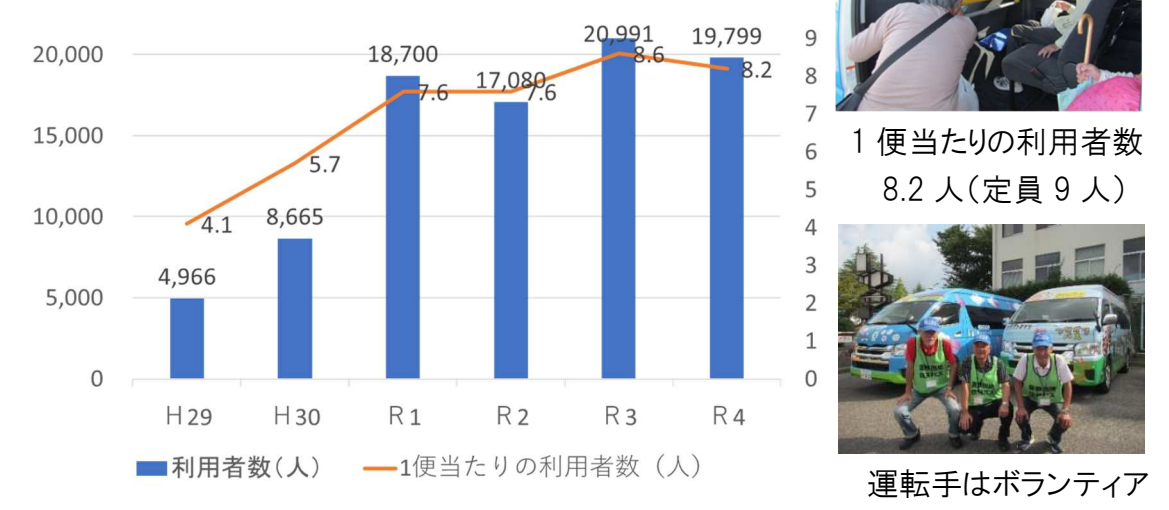
住民バス(社会実験)結果

- 運行日数
123日間
- 延べ利用者数
4,966人(1日当たり40.4人)
- 利用目的(上位5位まで)
 - 1位 買い物(50.7%)
 - 2位 試しに乗ってみた(42.3%)
 - 3位 家に帰る(31.0%)
 - 4位 公的・金融機関への用事(18.3%)
 - 5位 通院・デイケア(16.9%)



社会実験の結果を踏まえ、持続可能な運行ができるように
地域と行政で検討(菱野団地コミュニティ交通運行協議会)

住民バスの利用者数推移



住民バスは今日も菱野団地の住民の生活を支えている

